

18 学術業績

A. 国際学会・国際シンポジウム

[小児科]

- 1 (演題名) Efficacy of vitamin K deficiency screening using the hepaplastin test and validity of three prophylactic vitamin K doses in healthy newborns
(発表者) Ryo Matsuoka
(学会名) North American Society for Pediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition (NASPGHAN) Annual Meeting
(開催地、年月日) Hollywood, USA、2018.10.24-27

[外科]

- 1 (演題名) Effect of preoperative clearance rate of the esophagus for surgical outcomes in patients with esophageal achalasia
(発表者) Kazuto Tsuboi
(学会名) SAGES2018 (16ThWorldCongress of the Endoscopic Surgery)
(開催地、年月日) Seattle, USA、2018.4.11-14

[泌尿器科]

- 1 (演題名) Neuroendocrine differentiation of prostate cancer and clinical outcome of Everolimus against neuroendocrine prostate cancer (NEPC)
(発表者) Tatsuya Shimomura
(学会名) 第16回アジア泌尿器科会議
(開催地、年月日) Kyoto, Japan、2018.4
- 2 (演題名) Neuroendocrine differentiation of prostate cancer and the outcome of Everolimus against neuroendocrine prostate cancer (NEPC)
(発表者) Tatsuya Shimomura
(学会名) American Urological Association 2018 (米国泌尿器科学会)
(開催地、年月日) San Francisco, USA、2018.5
- 3 (演題名) The association of PSA levels and survival outcome in patients with chemotherapy-naïve, castration-resistant prostate cancer (CRPC) who were treated with androgen receptor signaling axis targeting agent (ARAT) : A Japanese cohort study
(発表者) Tatsuya Shimomura
(学会名) ASCO GU 2018 (米国癌治療学会議)
(開催地、年月日) San Francisco, USA、2019.2

B. 学会総会

[消化器内科]

- 1 (演題名) HIV 感染患者の原発不明癌に対して FOLFOXIRI+Bev が奏功した 1 例
(発表者) 三國隼人
(学会名) 第 16 回日本臨床腫瘍学会学術総会
(開催地、年月日) 神戸市、平成 30 年 7 月 21 日

[腎臓内科]

- 1 (演題名) 当院の CKD 病診連携における腎がん合併 CKD の検討
(発表者) 高橋康人、嵯峨崎誠、増田直仁、高村毅、笠井健司、横尾隆
(学会名) 第 61 回日本腎臓学会学術総会
(開催地、年月日) 新潟市、平成 30 年 6 月
- 2 (演題名) ポラプレジック投与後に銅欠乏に伴う汎血球減少を来した血液透析患者の一例
(発表者) 高村毅、高橋康人、増田直仁、嵯峨崎誠、笠井健司、横尾隆
(学会名) 第 63 回日本透析医学会学術集会・総会
(開催地、年月日) 神戸市、平成 30 年 6 月
- 3 (演題名) 単心室術後の成人 CKD に対する血液透析導入を施行した 1 例
(発表者) 増田直仁、高橋康人、嵯峨崎誠、高村毅、笠井健司、横尾隆
(学会名) 第 63 回日本透析医学会学術集会・総会
(開催地、年月日) 神戸市、平成 30 年 6 月

[神経内科]

- 1 (演題名) 非免疫不全者に発症したクリプトコッカス髄膜脳炎の検討
(発表者) 河野優、森田昌代
(学会名) 第 59 回日本神経学会総会
(開催地、年月日) 札幌市、平成 30 年 5 月 23 日
- 2 (演題名) 若年性脳梗塞の発症に関する危険因子の検討
(発表者) 河野優、寺澤由佳、井口保之、西山康裕、仁藤智香子、須田智、木村和美、神澤孝夫、今福一郎、中山貴博、上田雅之、岩永健、河野智之、山城一雄、田中亮太、大久保誠二
(学会名) 第 44 回日本脳卒中学会総会
(開催地、年月日) 横浜市、平成 31 年 3 月 21 日

[循環器内科]

- 1 (演題名) Increase in Oxidized Low-density Lipoprotein Level According to Hyperglycemia in Patients with Cardiovascular Disease:A study by Covariance Structure Analysis
(発表者) 山田崇之
(学会名) 第 83 回日本循環器学会学術集会
(開催地、年月日) 横浜市、平成 31 年 3 月 29 日－31 日

[小児科]

- 1 (演題名) High flow nasal cannula による呼吸管理を行った先天性横隔神経麻痺の2例
(発表者) 鈴木亮平、白坂和美、村木國男、岡井直史、鈴木貴之、松岡諒、秋山直枝、千葉博胤、井田博之
(学会名) 第121回日本小児科学会学術集会
(開催地、年月日) 福岡市、平成30年4月21日

- 2 (演題名) 生後1か月時にバルトリン腺膿瘍が顕在化した一例
(発表者) 橘高恵美、和田靖之、千葉浩介、馬場俊輔、皆川優納、石川尊士、大場温子、南波広行、高島典子、久保政勝、井田博幸
(学会名) 第121回日本小児科学会学術集会
(開催地、年月日) 福岡市、平成30年4月21日

- 3 (演題名) 小児における電極法による血中3-ヒドロキシ酪酸測定 of 臨床的意義
(発表者) 松岡諒、瀧沢裕司、田村喜久子、小穴慎二、井田博幸
(学会名) 第121回日本小児科学会学術集会
(開催地、年月日) 福岡市、平成30年4月20日

- 4 (演題名) 当院におけるイソプロテレノール持続吸入療法を中心とした喘息治療に関する検討
(発表者) 鈴木亮平、松岡諒、秋山直枝
(学会名) 第67回日本アレルギー学会学術大会
(開催地、年月日) 福岡市、平成30年6月24日

- 5 (演題名) 全身性エリテマトーデスに伴う腹痛と急性虫垂炎との鑑別を要した一例
(発表者) 鈴木亮平、相良長俊、本木隆規、赤司賢一、勝沼俊雄
(学会名) 第45回日本小児栄養消化器肝臓学会
(開催地、年月日) さいたま市、平成30年10月7日

- 6 (演題名) 健常新生児におけるヘパプラスチンテストを用いたビタミンK欠乏症のスクリーニングとビタミン製剤3回投与の有用性
(発表者) 松岡諒、橘高恵美、竹内博一、藤多慧、角皆季樹、鈴木亮平、木下美沙子、秋山直枝、千葉博胤
(学会名) 第45回日本小児栄養消化器肝臓学会
(開催地、年月日) さいたま市、平成30年10月7日

- 7 (演題名) 繰り返す貧血を契機に診断された吻合部潰瘍の一例
 (発表者) 橘高恵美、松岡諒、竹内博一、藤多慧、角皆季樹、鈴木亮平、木下美沙子、秋山直枝、千葉博胤
 (学会名) 第45回日本小児栄養消化器肝臓学会
 (開催地、年月日) さいたま市、平成30年10月7日
- 8 (演題名) 慈恵ファミリー病レジストリを用いた日本人ファミリー病患者の5年間の追跡結果
 (発表者) 角皆季樹、作間未織、森田麻子、大橋十也、井田博幸
 (学会名) 第60回日本先天代謝異常学会総会
 (開催地、年月日) 岐阜市、平成30年11月8日-10日

[外科]

- 1 (演題名) 同一乳腺内に乳癌と葉状腫瘍が併存した1例
 (発表者) 梶本徹也
 (学会名) 第26回日本乳癌学会学術総会
 (開催地、年月日) 京都市、平成30年5月16日-19日
- 2 (演題名) 食道アカラシア患者における病悩期間が病態および手術成績におよぼす影響
 (発表者) 坪井一人
 (学会名) 第73回日本消化器外科学会総会
 (開催地、年月日) 金沢市、平成30年7月11日-13日
- 3 (演題名) 性別によるNERD患者の病態および症状の差異
 (発表者) 坪井一人
 (学会名) JDDW2018 第60回日本消化器病学会大会
 (開催地、年月日) 神戸市、平成30年11月1日-4日
- 4 (演題名) 当院におけるGERDならびに食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡下手術症例の特徴
 (発表者) 坪井一人
 (学会名) 第80回日本臨床外科学会総会
 (開催地、年月日) 東京都、平成30年11月22日-24日
- 5 (演題名) 停留精巣を合併した成人鼠経ヘルニアに対して、腹腔鏡下手術を施行した1例
 (発表者) 梶本徹也
 (学会名) 第31回日本内視鏡外科学会総会
 (開催地、年月日) 福岡市、平成30年12月6日-8日
- 6 (演題名) 食道憩室合併の重度逆流性食道炎患者に対し腹腔鏡下憩室切除ならびに噴門形成術にて病態改善が得られた1例
 (発表者) 坪井一人
 (学会名) 第31回日本内視鏡外科学会総会
 (開催地、年月日) 福岡市、平成30年12月6日-8日

[泌尿器科]

- 1 (演題名) 筋層浸潤例に対する NBI 併用 en-bloc TUR-BT の検討
(発表者) 下村達也、阪中啓吾、鈴木英訓、後藤博一、颯川晋
(学会名) 第 106 回日本泌尿器科学会総会
(開催地、年月日) 京都市、平成 30 年 4 月 21 日
- 2 (演題名) CRPC に対する Abiraterone acetate の治療成績
(発表者) 阪中啓吾、下村達也、鈴木英訓、後藤博一、颯川晋
(学会名) 第 83 回日本泌尿器科学会東部総会
(開催地、年月日) 東京都、平成 30 年 10 月
- 3 (演題名) 前立腺神経内分泌癌に対する Everolimus を用いた治療に関する検討
(発表者) 下村達也、阪中啓吾、鈴木英訓、後藤博一、颯川晋
(学会名) 第 83 回日本泌尿器科学会東部総会
(開催地、年月日) 東京都、平成 30 年 10 月
- 4 (演題名) 筋層浸潤例に対する NBI 併用 en-bloc TUR-BT の検討 (第二報)
(発表者) 下村達也、阪中啓吾、鈴木英訓、後藤博一、颯川晋
(学会名) 第 83 回日本泌尿器科学会東部総会
(開催地、年月日) 東京都、平成 30 年 10 月

[放射線科]

- 1 (演題名) A case of percutaneous CT-guided thrombin injection for pancreatitis-related pseudoaneurysm
(発表者) Kenkichi Michimoto
(学会名) 第 47 回日本 IVR 学会総会
(開催地、年月日) 東京都、平成 30 年 5 月 31 日－6 月 2 日

[歯科口腔外科]

- 1 (演題名) 下顎骨に生じた類上皮血管内皮腫の 1 例
(発表者) 井出正俊、勝山直彦、久我憲央、荘司洋文、猪俣徹、吉田和正、岡村尚、武田宗矩、柳下寿郎
(会 名) 日本口腔外科学会総会
(開催地、年月日) 千葉県幕張市、平成 30 年 11 月 2 日－4 日
- 2 (演題名) インプラント抜去後出血を契機に診断された胸腹部大動脈瘤を有する患者の慢性 DIC の 1 例
(発表者) 齊藤香恵子、勝山直彦、井出正俊、久我憲央、小林清佳、内川喜盛
(会 名) 障害者歯科学会総会
(開催地、年月日) 東京都中野区、平成 30 年 11 月 16 日－18 日

〔臨床検査科〕

- 1 (演題名) 日常業務とマニュアル遵守の間にある理想と現実・標準化に向けた取り組み
(発表者) 渡邊広明
(学会名) 第 67 回日本医学検査学会
(開催地、年月日) 浜松市、平成 30 年 5 月 11 日
- 2 (演題名) 腹壁破裂について
(発表者) 岩崎佐知子
(学会名) 第 67 回日本医学検査学会
(開催地、年月日) 浜松市、平成 30 年 5 月 12 日
- 3 (演題名) 輸血後感染症検査実施率計算機能を使用した実施率の検討
(発表者) 長峰誠一郎
(学会名) 第 66 回日本輸血・細胞治療学会総会
(開催地、年月日) 宇都宮市、平成 30 年 5 月 24 日
- 4 (演題名) 臨床検査技師の新たな役割～社会における未病～
(発表者) 岩崎佐知子
(学会名) 第 25 回日本未病システム学会学術集会
(開催地、年月日) 東京都、平成 30 年 10 月 27 日

〔中央放射線科〕

- 1 (演題名) 急性期脳梗塞における血栓回収療法の時間短縮に向けた簡易的頸部 MRA を用いた取り組み
(発表者) 猪股崇亨
(学会名) 日本臨床救急医学会総会・学術集会
(開催地、年月日) 名古屋市、平成 30 年 5 月 31 日－6 月 2 日
- 2 (演題名) CTO 失敗症例から学ぶ CTguidePCI の重要性
(発表者) 鈴木浩之
(学会名) 第 27 回日本心血管インターベンション治療学会 CVIT2018
(開催地、年月日) 神戸市、平成 30 年 8 月 4 日

〔リハビリテーション科〕

- 1 (演題名) 地震防災対策行動のフローチャートにはどのような内容を記載すべきか
(発表者) 山田将史
(学会名) 第 57 回全国自治体病院学会
(開催地、年月日) 群馬県郡山市、平成 30 年 10 月 18 日－19 日
- 2 (演題名) 運動時の栄養付加により効果的な ADL 改善を認めた MDS 患者の一例
(発表者) 梅原健人
(学会名) 第 34 回日本静脈経腸栄養学会学術集会
(開催地、年月日) 東京都港区、平成 31 年 2 月 14 日－15 日

〔薬剤科〕

- 1 (演題名) 周産期管理とポリファーマシー
(発表者) 阿部一仁
(学会名) 第2回日本老年薬学会学術大会
(開催地、年月日) 東京都、平成30年5月12日-13日
- 2 (演題名) 特定薬剤治療管理料2算定における薬剤師の入院・外来介入
(発表者) 阿部一仁
(学会名) 第28回日本医療薬学会
(開催地、年月日) 神戸市、平成30年11月23日-25日

〔看護部〕

- 1 (演題名) 深部静脈血栓症予防に対する勉強会による看護師の行動変容
(発表者) 小林智美
(学会名) 第49回日本看護学会 看護教育
(開催地、年月日) 広島市、平成30年8月16日
- 2 (演題名) 救急外来における救急重症患者の家族との関わりから学んだ家族看護
(発表者) 佐野萌子
(学会名) 第49回日本看護学会 急性期看護
(開催地、年月日) 大分県別府市、平成30年9月7日
- 3 (演題名) 人工膝関節置換術後の患者に、関節可動域拡大を期待したCPM前ウォーミングアップの検証
(発表者) 芦原裕子
(学会名) 第49回日本看護学会 急性期看護
(開催地、年月日) 大分県別府市、平成30年9月7日
- 4 (演題名) 脊髄くも膜下麻酔で手術を受けた患者が手術台に臥床してみて感じた事
(発表者) 小川広子
(学会名) 第49回日本看護学会 急性期看護
(開催地、年月日) 大分県別府市、平成30年9月7日
- 5 (演題名) 後年初産夫婦における産後の役割調整支援
(発表者) 山下かずみ
(学会名) 第49回日本看護学会 ヘルスプロモーション
(開催地、年月日) 岡山市、平成30年9月20日
- 6 (演題名) 大腸内視鏡検査の前処置と歩行運動の関連
(発表者) 望月亜沙子
(学会名) 第49回日本看護学会 慢性期看護
(開催地、年月日) 静岡市、平成30年9月28日

- 7 (演題名) 類天疱瘡と診断された患者への援助
(発表者) 安東裕子
(学会名) 第57回全国自治体病院学会 in 福島
(開催地、年月日) 福島県郡山市、平成30年10月18日
- 8 (演題名) 救急外来看護師の在宅支援に対する知識の向上と質の高い看護を目指して
(発表者) 野畑圭子
(学会名) 第57回全国自治体病院学会 in 福島
(開催地、年月日) 福島県郡山市、平成30年10月18日
- 9 (演題名) ベビー服を作成することによるペリネイタル・ロスに対する意識の変化委
(発表者) 大村友紀恵
(学会名) 第15回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会
(開催地、年月日) 神戸市、平成30年10月27日
- 10 (演題名) ストーマ造設術後の開腹手術創とストーマの管理
(発表者) 若林久美子
(学会名) 第73回日本大腸肛門学会学術集会
(開催地、年月日) 東京都、平成30年11月19日
- 11 (演題名) ICU入室患者に起きた記憶のゆがみとその要因
－ICU退出後訪問用紙の記述から－
(発表者) 佐野世佳
(学会名) 第46回日本集中治療医学会学術集会
(開催地、年月日) 京都市、平成31年3月2日

[事務部]

- 1 (演題名) 「外国人患者の支援を難しくさせる3つのキーワード」
(発表者) 前嶋真理子 (地域医療連携センター・地域医療連携室)
(学会名) 静岡県ソーシャルワーク実践研究学会
(開催地、年月日) 静岡市、平成31年2月

C. 地方会・講演会・研究会

〔糖尿病・内分泌・血液内科〕

- 1 (演題名) 健常者に発症した水痘帯状ウイルス髄膜炎の1例
(発表者) 関口賢介
(会名) 第237回日本内科学会東海地方会
(開催地、年月日) 津市、平成31年2月17日
- 2 (演題名) フルニエ症候群を合併した血糖コントロール不良の2型糖尿病の1例
(発表者) 所一将
(会名) 第237回日本内科学会東海地方会
(開催地、年月日) 津市、平成31年2月17日
- 3 (演題名) Percheron 動脈閉塞により生じた両側傍正中視床梗塞の1例
(発表者) 大野隆行
(会名) 第237回日本内科学会東海地方会
(開催地、年月日) 津市、平成31年2月17日

〔消化器内科〕

- 1 (演題名) 抗ミトコンドリア抗体陽性筋炎についての考察
(発表者) 渡邊俊宗
(会名) 日本消化器病学会関東支部第350回例会
(開催地、年月日) 東京都、平成30年7月14日
- 2 (演題名) 腹部大動脈瘤術後に十二指腸水平脚に発生した大動脈腸管瘻の1例
(発表者) 渡邊俊宗、金井友哉、三國隼人、土屋学、桐生幸苗、青木祐磨、佐伯千里
(会名) 日本内科学会第237回東海地方会
(開催地、年月日) 津市、平成31年2月17日
- 3 (演題名) Roux-en-Y 再建後の胆石性胆管炎に対して PTGBD ルートからの Rendezvous 法で採石を施行した1例
(発表者) 三國隼人、金井友哉、渡邊俊宗、土屋学、桐生幸苗、青木祐磨、佐伯千里
(会名) 日本内科学会第237回東海地方会
(開催地、年月日) 津市、平成31年2月17日
- 4 (演題名) 胆嚢摘出術後に発生した原発性胆嚢管癌の1例
(発表者) 土屋学、金井友哉、三國隼人、渡邊俊宗、桐生幸苗、青木祐磨、佐伯千里
(会名) 日本内科学会第237回東海地方会
(開催地、年月日) 津市、平成31年2月17日

〔腎臓内科〕

- 1 (演題名) 腎臓病領域におけるファブリー病診断
(発表者) 井上達秀、河野優、前川裕一郎、笠井健司、臼井健
(会名) Round Table Discussion ファブリー病早期診断・治療の重要性
(開催地、年月日) 静岡市、平成30年5月

- 2 (演題名) 高齢患者さんの透析導入
(発表者) 笠井健司
(会名) バイエル株式会社提供患者向け Web サイト ドクターに学ぶ透析
(開催地、年月日) 富士市、平成 30 年 6 月
- 3 (演題名) 地域で取り組む CKD 診療
(発表者) 笠井健司
(会名) ホスレノール WEB セミナー
(開催地、年月日) 富士市、平成 30 年 6 月
- 4 (演題名) 活性型ビタミンD製剤と高 Ca 血症性腎障害
(発表者) 笠井健司
(会名) 第 6 回静岡東部骨粗鬆症学術講演会
(開催地、年月日) 沼津市、平成 30 年 8 月
- 5 (演題名) 腹膜透析の現況
(発表者) 笠井健司
(会名) 静岡 PD 倶楽部
(開催地、年月日) 静岡市、平成 30 年 9 月
- 6 (演題名) 2018 年度版「災害を乗り越えるために知っておきたいこと」
(発表者) 笠井健司
(会名) 富士市透析防災講演会 2018
(開催地、年月日) 富士市、平成 30 年 10 月
- 7 (演題名) 重症複合型免疫不全症に合併した尿細管間質性腎炎の 1 例
(発表者) 高橋康人、増田直仁、土谷千子、嵯峨崎誠、笠井健司
(会名) 第 38 回静岡県東部腎カンファレンス
(開催地、年月日) 富士市、平成 30 年 11 月
- 8 (演題名) 活性型ビタミンD製剤と高 Ca 血症性腎障害
(発表者) 笠井健司
(会名) 富士市薬薬連携講演会
(開催地、年月日) 富士市、平成 30 年 11 月
- 9 (演題名) 慢性腎臓病 (CKD) の地域医療連携を通して見えてきたもの—専門医の枠を超え、
CKD 患者の悪性腫瘍への予測・予防医療の可能性について
(発表者) 笠井健司
(会名) TL 医療学術集会
(開催地、年月日) 東京都、平成 30 年 11 月
- 10 (演題名) 富士市における CKD 地域医療連携
(発表者) 笠井健司
(会名) 第 445 回御殿場医師会学術講演会
(開催地、年月日) 御殿場市、平成 31 年 1 月

- 11 (演題名) 尿異常を契機に診断された Fibrillary Glomerulonephritis の 1 例
 (発表者) 土谷千子、高橋康人、増田直仁、嵯峨崎誠、笠井健司
 (会名) 日本内科学会東海支部主催第 237 回東海地方会
 (開催地、年月日) 津市、平成 31 年 2 月
- 12 (演題名) CKD 診療における地域医療連携の重要性
 (発表者) 笠井健司
 (会名) 協和発酵キリン 社員研修会
 (開催地、年月日) 富士市、平成 31 年 2 月
- 13 (演題名) CKD 診療における地域医療連携
 (発表者) 笠井健司
 (会名) 田辺三菱製薬株式会社・社内勉強会
 (開催地、年月日) 富士市、平成 31 年 3 月
- 14 (演題名) 持続血液ろ過透析の段階的な透析液ナトリウム濃度調整が有効であった高ナトリウム血症合併 AKI の 1 例
 (発表者) 高橋康人、土谷千子、増田直仁、嵯峨崎誠、笠井健司、横尾隆
 (会名) 第 53 回静岡県腎不全研究会
 (開催地、年月日) 静岡市、平成 31 年 3 月
- 15 (演題名) 基調講演 富士市 CKD ネットワークの現状と今後
 (発表者) 笠井健司
 (会名) 富士市高血圧腎疾患研究会
 (開催地、年月日) 富士市、平成 31 年 3 月

[神経内科]

- 1 (演題名) Stroke in Fabry disease
 (発表者) 河野優
 (会名) Jikei Fabry disease Seminar
 (開催地、年月日) 東京都港区、平成 30 年 6 月 7 日
- 2 (演題名) 甲状腺機能低下症と高アンモニア血症にて惹起された大脳皮質異常信号域の検討
 (発表者) 河野優
 (会名) 第 4 回 Neurology Forum
 (開催地、年月日) 東京都港区、平成 30 年 6 月 18 日
- 3 (演題名) ファブリー病における脳梗塞の特徴
 (発表者) 河野優
 (会名) 脳血管とファブリー病を考える会
 (開催地、年月日) 静岡県浜松市、平成 30 年 6 月 29 日
- 4 (演題名) パーキンソン病の診断と治療 ―過去・現在・未来―
 (発表者) 河野優
 (会名) 第 11 回駿豆ライフスタイル研究会
 (開催地、年月日) 静岡県三島市、平成 30 年 10 月 12 日

- 5 (演題名) 甲状腺機能低下症と高アンモニア血症の合併により大脳皮質異常信号域を伴う代謝性脳症を呈した1例
 (発表者) 河野優、青木祐磨、佐伯千里、須藤英訓、辻野大助
 (会名) 第152回日本神経学東海北陸地方会
 (開催地、年月日) 富山県富山市、平成30年11月10日
- 6 (演題名) 開口障害の診断と治療
 (発表者) 河野優
 (会名) 第5回Neurology Forum
 (開催地、年月日) 東京都港区、平成30年11月19日
- 7 (演題名) 当院で経験したCARASILの2症例
 (発表者) 河野優
 (会名) ファブリー病学術講演会
 (開催地、年月日) 東京都港区、平成30年12月15日
- 8 (演題名) Percheron動脈梗塞が原因と思われる両側視床内側梗塞の1例
 (発表者) 大野隆行、所一将、関口賢介、山城秀樹、辻野大助、藤井常宏、高津宏樹、河野優、宇都宮一典
 (会名) 第237回日本内科学会東海地方会
 (開催地、年月日) 津市、2019年2月6日
- 9 (演題名) 健常者に発症した水痘・帯状疱疹ウイルス髄膜炎の1例
 (発表者) 関口賢介、辻野大助、大野隆行、所一将、山城秀樹、藤井常宏、高津宏樹、河野優
 (会名) 第237回日本内科学会東海地方会
 (開催地、年月日) 津市、2019年2月6日

[循環器内科]

- 1 (演題名) 左冠動脈回旋枝のPCIに難渋した不安定狭心症の一例
 (発表者) 増谷祐人
 (会名) 第40回CVIT東海北陸地方会
 (開催地、年月日) 静岡市、平成30年10月12日-13日

[心臓血管外科]

- 1 (演題名) My technique ; MVR後左室破裂予防のための術式工夫
 ～考え得る予防手段を全て講じても生じた左室破裂症例の経験を通じて～
 (発表者) 田口真吾
 (会名) 第22回心臓外科研究懇話会
 (開催地、年月日) 焼津市、9月

[小児科]

- 1 (演題名) 食物経口負荷試験の適応決定におけるアレルゲンコンポーネント抗体価の有用性
(発表者) 鈴木亮平、松岡諒、橘高恵美、竹内博一、藤多慧、角皆季樹、木下美紗子、秋山直枝、千葉博胤
(会 名) 第 146 回日本小児科学会静岡地方会
(開催地、年月日) 静岡市、平成 30 年 6 月 10 日

- 2 (演題名) 健常新生児におけるヘパプラスチンテストを用いたビタミンK欠乏症のスクリーニングとビタミン製剤 3 回投与の有用性
(発表者) 松岡諒、橘高恵美、竹内博一、藤多慧、角皆季樹、鈴木亮平、木下美紗子、秋山直枝、千葉博胤
(会 名) 第146回日本小児科学会静岡地方会
(開催地、年月日) 静岡市、平成 30 年 6 月 10 日

- 3 (演題名) こどもにおける消化器病診断 小児クローン病の 1 例
(発表者) 松岡諒
(会 名) 静岡東部・伊豆 IBD 研究会
(開催地、年月日) 三島市、平成30年 7 月 9 日

- 4 (演題名) 小児クローン病の診断・治療のポイント
(発表者) 松岡諒
(会 名) 富士・富士宮 IBD セミナー
(開催地、年月日) 富士市、平成30年 9 月10日

- 5 (演題名) 壊死性肉芽腫性変化と思われる肝脾病変を有した治療抵抗性猫ひっかき病の一男児例
(発表者) 橘高恵美、石川尊士、和田靖之、齋藤義弘、河合利尚、久保政勝
(会 名) 第 67 回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第 65 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会 2018
(開催地、年月日) 東京都文京区、平成 30 年 10 月 26 日

- 6 (演題名) 潰瘍性大腸炎を合併し、2 型自己免疫性膵炎が疑われた一例
(発表者) 松岡諒、金井友哉、佐伯千里
(会 名) 第 19 回日本小児 IBD 研究会
(開催地、年月日) 大阪市、平成31年 2 月 3 日

- 7 (演題名) 足底採血を契機に発症した踵骨骨髓炎の一例
(発表者) 橘高恵美、松岡諒、中村祐輔、藤多慧、角皆季樹、鈴木亮平、海野浩寿、秋山直枝、千葉博胤
(会名) 第56回静岡県東部臨床小児懇話会
(開催地、年月日) 沼津市、平成31年2月23日
- 8 (演題名) 新生児マスキリーニングを契機に診断したシトリン血症の一例
(発表者) 角皆季樹、中村祐輔、橘高恵美、藤多慧、鈴木亮平、松岡諒、海野浩寿、秋山直枝、千葉博胤
(会名) 第52回静岡県東部臨床小児懇話会
(開催地、年月日) 沼津市、平成31年2月23日

[外科]

- 1 (演題名) 健康寿命を延ばす為の対策
(発表者) 柏木秀幸
(会名) 富士市悠容クラブ連合会創立50周年記念式典
(開催地、年月日) 富士市、平成30年8月2日
- 2 (演題名) A会場 A-V
(発表者) 討論者：高野裕樹
(会名) 静岡県外科医会第240回集談会
(開催地、年月日) 沼津市、平成31年3月2日
- 3 (演題名) 交通外傷後の遅発性結腸穿孔の一例
(発表者) 後藤圭佑
(会名) 静岡県外科医会第240回集談会
(開催地、年月日) 沼津市、平成31年3月2日
- 4 (演題名) 腸閉塞にて発症した同時性多発性小腸癌の1例
(発表者) 白川毅
(会名) 静岡県外科医会第240回集談会
(開催地、年月日) 沼津市、平成31年3月2日
- 5 (演題名) 当院における外科レジデント教育について
(発表者) 梶本徹也
(会名) 第74回静岡県癌治療研究会
(開催地、年月日) 静岡市、平成31年3月30日
- 6 (演題名) 肝胆膵癌手術と感染・炎症
(発表者) 座長：梶本徹也
(会名) 第74回静岡県癌治療研究会
(開催地、年月日) 静岡市、平成31年3月30日

- 7 (演題名) 膝癌に対し膝体尾部切除術施行後、下行結腸に転移した1例
(発表者) 高野裕樹
(会名) 第74回静岡県癌治療研究会
(開催地、年月日) 静岡市、平成31年3月30日

[整形外科]

- 1 (演題名) INTERTAN-Nailにおけるラグスクリューへのコンプレッションの検討
(発表者) 木原匠
(会名) 静岡整形外科医会
(開催地、年月日) 沼津市、平成31年3月16日
- 2 (演題名) 小児のMRSE感染による骨髄炎の1例
(発表者) 宮嶋寛武
(会名) 静岡整形外科医会
(開催地、年月日) 沼津市、平成31年3月16日

[泌尿器科]

- 1 (演題名) 急激な転機をたどった腎小細胞癌の一例
(発表者) 阪中啓吾、下村達也、鈴木英訓、後藤博一
(会名) 第134回静岡県泌尿器科医会
(開催地、年月日) 浜松市、平成30年6月23日
- 2 (演題名) 前立腺導管癌の一例
(発表者) 宮島慶一郎、下村達也、鈴木英訓、後藤博一
(会名) 第97回静岡県東部泌尿器科研究会
(開催地、年月日) 沼津市、平成30年8月4日
- 3 (演題名) 解放性膀胱破裂を保存的に治療した一例
(発表者) 阪中啓吾、下村達也、鈴木英訓、後藤博一
(会名) 第97回静岡県東部泌尿器科研究会
(開催地、年月日) 沼津市、平成30年8月4日
- 4 (演題名) Pembrolizumabが奏功した尿路上皮癌の一例
(発表者) 笹原太志郎、宮島慶一郎、下村達也、鈴木英訓、後藤博一
(会名) 第135回静岡県泌尿器科医会
(開催地、年月日) 静岡市、平成31年1月27日
- 5 (演題名) 前立腺小細胞癌一例
(発表者) 宮島慶一郎、笹原太志郎、下村達也、鈴木英訓、後藤博一
(会名) 第98回静岡県東部泌尿器科研究会
(開催地、年月日) 三島市、平成31年3月8日

- 6 (演題名) 前立腺出血性嚢胞の一例
(発表者) 宮島慶一郎、笹原太志郎、下村達也、鈴木英訓、後藤博一
(会名) 第98回静岡県東部泌尿器科研究会
(開催地、年月日) 三島市、平成30年3月8日

[耳鼻咽喉科]

- 1 (演題名) 顎下部腫脹から診断のついたアミロイドーシスの1例
(発表者) 高津南美子、黒田健斗、内尾紀彦、重田泰史
(会名) 第113回日本耳鼻咽喉科学会静岡県地方部会
(開催地、年月日) 静岡市、平成30年4月15日
- 2 (演題名) 好酸球性副鼻腔炎の検討 ～アレルギー性鼻炎との関連を含めて～
(発表者) 高津南美子、黒田健斗、重田泰史
(会名) 岳南耳鼻咽喉科研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成30年6月20日
- 3 (演題名) めまいの一例
(発表者) 高津南美子、黒田健斗、重田泰史
(会名) 岳南耳鼻咽喉科研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成30年8月20日
- 4 (演題名) 入院後にWallenberg症候群の診断となっためまいの1例
(発表者) 高津南美子、黒田健斗、重田泰史
(会名) 第115回日本耳鼻咽喉科学会静岡県地方部会
(開催地、年月日) 浜松市、平成30年10月13日

[放射線科]

- 1 (演題名) MSK embolization(TAME)の初期経験
(発表者) 道本顕吉
(会名) 第4回 Jikei Young Interventional Radiologists Conference
(開催地、年月日) 東京都、平成30年9月29日

[歯科口腔外科]

- 1 (演題名) 薬剤関連顎骨壊死、現状と課題
(発表者) 勝山直彦
(会名) 富士宮歯科医師会
(開催地、年月日) 富士宮市、平成31年2月16日

[臨床検査科]

- 1 (演題名) 副鼻腔に発生した神経内分泌癌の一例
(発表者) 柏木里沙子
(会名) 静岡県臨床細胞学会春期学術集会
(開催地、年月日) 静岡市、平成30年5月19日

- 2 (演題名) 輸血検査分析装置 IH500 導入による業務フローの変更
(発表者) 長峰誠一郎
(会 名) 静岡県東部血液セミナー
(開催地、年月日) 沼津市、平成 30 年 6 月 1 日

- 3 (演題名) WHO 分類第 4 版 2016 改訂版(MDS)を正しく理解しよう
(発表者) 手老真弓
(会 名) 第 3 回臨床血液部門研修会
(開催地、年月日) 静岡市、平成 30 年 9 月 29 日

- 4 (演題名) 耳下部に発生した石灰化上皮種の細胞像について
(発表者) 渡邊広明
(会 名) 静岡県臨床細胞学会秋期学術集会
(開催地、年月日) 静岡市、平成 30 年 10 月 13 日

- 5 (演題名) 輸血後感染症検査実施率計算機能を使用した実施率の検討
(発表者) 長峰誠一郎
(会 名) 静岡県東部血液セミナー
(開催地、年月日) 沼津市、平成 30 年 11 月 2 日

- 6 (演題名) 私の職業
(発表者) 長峰誠一郎
(会 名) 職業講和
(開催地、年月日) 富士市、平成 30 年 11 月 2 日

- 7 (演題名) 乳腺・唾液腺領域の細胞診断
(発表者) 渡邊広明
(会 名) 静岡県臨床細胞学会細胞検査士ワークショップ
(開催地、年月日) 静岡市、平成 30 年 11 月 11 日

- 8 (演題名) ホルムアルデヒド対策について
(発表者) 外山卓矢
(会 名) 静岡県東部地区細胞診症例検討会
(開催地、年月日) 富士市、平成 31 年 1 月 12 日

- 9 (演題名) 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会に参加して
(発表者) 大野真一
(会 名) 静岡県臨床検査技師会東部意見交換会
(開催地、年月日) 三島市、平成 31 年 2 月 8 日

〔中央放射線科〕

- 1 (演題名) 若年性高血圧の一例
(発表者) 澤口信孝
(会 名) 第 28 回診療放射線技師 富士・富士宮研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成 30 年 4 月 20 日

- 2 (演題名) みんなで検討しよう！ ～こんな時どうしてる？～
(発表者) 鈴木浩之
(会 名) 第 15 回神奈川カテ室コメディカル研究会
(開催地、年月日) 横浜市、平成 30 年 8 月 25 日

- 3 (演題名) Radimetrics の使用経験
(発表者) 神田直樹
(会 名) 第 29 回診療放射線技師 富士・富士宮研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成 30 年 10 月 12 日

- 4 (演題名) 若年性高血圧の一例
(発表者) 澤口信孝
(会 名) 第 74 回超音波部会研修会 (静岡県放射線技師会)
(開催地、年月日) 静岡市、平成 30 年 10 月 12 日

- 5 (演題名) こんなときどうする？骨盤部アーチファクト対策
(発表者) 増田裕司
(会 名) 静岡県 MRI 技術研究会
(開催地、年月日) 静岡市、平成 30 年 10 月 27 日

- 6 (演題名) SFA STENT fracture を経験した症例
(発表者) 鈴木浩之
(会 名) 第 25 回鎌倉 Live demonstration
(開催地、年月日) 横浜市、平成 30 年 12 月 16 日

- 7 (演題名) 胎児エコースクリーニング
(発表者) 大森知枝
(会 名) 第 75 回超音波部会研修会 (静岡県放射線技師会)
(開催地、年月日) 静岡市、平成 31 年 2 月 16 日

〔臨床工学科〕

- 1 (演題名) 当院における人工呼吸療法の現状と臨床工学技士の関わり
(発表者) 佐野達哉
(会 名) 第 13 回静岡県臨床工学会
(開催地、年月日) 静岡市、平成 30 年 6 月 2 日

〔リハビリテーション科〕

- 1 (演題名) 糖尿病を有する大腿切断患者への取り組みの一例
(発表者) 梅原健人
(会名) 第22回静岡県理学療法士学会
(開催地、年月日) 浜松市、平成30年6月24日
- 2 (演題名) 易転倒性を呈した症例の姿勢制御に対する一介入 ～知覚循環に注目して～
(発表者) 高橋良太
(会名) 第22回静岡県理学療法士学会
(開催地、年月日) 浜松市、平成30年6月24日

〔医療技術科〕

- 1 (演題名) 地域における食支援・歯科専門職の関わり
(発表者) 長橋あゆみ
(会名) 平成30年度在宅歯科医療推進研修
(開催地、年月日) 静岡市、平成30年11月18日

〔薬剤科〕

- 1 (演題名) インスリン自己注射手技の実践
(発表者) 阿部一仁
(会名) 富士薬薬連携勉強会
(開催地、年月日) 富士市、平成30年5月25日
- 2 (演題名) インスリンと低血糖
(発表者) 阿部一仁
(会名) 富士薬薬連携勉強会
(開催地、年月日) 富士市、平成30年7月30日
- 3 (演題名) 抗がん剤の処方解析 ～処方箋から読み取り服薬指導に繋げよう～
(発表者) 阿部一仁
(会名) 富士がん薬薬連携講演会
(開催地、年月日) 富士市、平成30年8月7日
- 4 (演題名) 筋委縮性側索硬化症患者における胃がん化学療法と暴露対策
(発表者) 阿部一仁
(会名) 第9回富士・富士宮地区消化器癌研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成30年11月28日
- 5 (演題名) 特定薬剤治療管理料2算定における薬剤師の介入
(発表者) 阿部一仁
(会名) 静岡県病院薬剤師会東部支部例会
(開催地、年月日) 三島市、平成31年2月21日

〔看護部〕

- 1 (演題名) EPDS の実態と産後 2 週間検診の現状
ー A 病院で出産をした母親の産後健康診査を通してー
(発表者) 齋藤雅美
(学会名) 第 31 回静岡県母性衛生学会記念講演会
(開催地、年月日) 静岡市、平成 30 年 9 月 4 日
- 2 (演題名) 急変時対応のシミュレーションの効果 ー入職 3 年以下の看護師に導入してー
(発表者) 有田由季
(会 名) 平成 30 年度第 18 回看護実践報告会
(開催地、年月日) 富士市、平成 31 年 2 月 2 日

〔事務部〕

- 1 (演題名) 「主体性のない患者への支援」
(発表者) 前嶋真理子 (地域医療連携センター・地域医療連携室)
(会 名) MSW 研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成 30 年 4 月
- 2 (演題名) 「自殺未遂者への支援」
(発表者) 江村宏子 (地域医療連携センター・患者サポート室)
(会 名) 静岡県 SW 研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成 30 年 5 月
- 3 (演題名) 「ネグレクト疑いのケース」
(発表者) 遠藤卓馬 (地域医療連携センター・地域医療連携室)
(会 名) 静岡県医療ソーシャルワーカー協会 東部地区研究会
(開催地、年月日) 沼津市、平成 30 年 7 月
- 4 (演題名) 「キーパーソンが現実に向き合えない～ひとつひとつ不安を解消した事例～」
(発表者) 遠藤卓馬 (地域医療連携センター・地域医療連携室)
(会 名) NSW 研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成 30 年 12 月
- 5 (演題名) がん患者家族の希望・意向に寄り添った支援の実際ー退院支援～在宅療養支援ー
(発表者) 中村友美、赤堀崇代 (地域医療連携センター・地域医療連携室)
(会 名) 富士在宅医療連携の会
(開催地、年月日) 富士市、平成 30 年 12 月 3 日
- 6 (演題名) サービス利用に消極的な家族に訪問看護を提供した 1 例
(発表者) 遠藤卓馬、齋藤香須美 (地域医療連携センター・地域医療連携室)
(会 名) 富士在宅医療連携の会
(開催地、年月日) 富士市、平成 30 年 12 月 3 日

- 7 (演題名) Aさんの失意、孤独、そしてこれからの生活のためにどうしたらいいのか
(発表者) 江村宏子 (地域医療連携センター・患者サポート室)
(会 名) 静岡県 SW 研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成 31 年 3 月
- 8 (演題名) 「生活状況が見えにくいクライアントへの支援」
(発表者) 佐藤理絵 (地域医療連携センター・地域医療連携室)
(会 名) NSW 研究会
(開催地、年月日) 富士市、平成 31 年 3 月

D. 著書・雑誌掲載論文

〔糖尿病・内分泌・血液内科〕

- 1 (著書【題名】) 血糖自己測定(SMBG)を含む多種多様な血糖モニタリングシステムを使い分ける時代へ
(著者) 辻野大助
(発行所・年・巻・号・頁) Diabetes Strategy・2018・8巻・3号・P100-101

〔消化器内科〕

- 1 (著書【題名】) Prognostic significance of Wilms' tumor 1 expression in patients with pancreatic ductal adenocarcinoma.
(著者) TOMOYA KANAI, ZENSHO ITO, YUSUKE OJI, MACHI SUKA, SUMIYUKI NISHIDA, KAZUKI TAKAKURA, MIKIO KAJIHARA, MASAYUKI SARUTA, SHUICHI FUJIOKA, TAKEYUKI MISAWA, TADASHI AKIBA, HIROYUKI YANAGISAWA, SHIGETAKA SHIMODAIRA, MASATO OKAMOTO, HARUO SUGIYAMA and SHIGEO KOIDO
(発行所・年・巻・号・頁) Oncol Lett. 2018 Aug;16(2):2682-2692

〔腎臓内科〕

- 1 (著書【題名】) いまさら訊けない！透析患者検査値のみかた、考えかた 第2版
(著者) 加藤明彦
(発行所・年・巻・号・頁) 中外医学社・2018・P190-195

〔神経内科〕

- 1 (著書【題名】) Heterozygous *HTRA1* mutations with mimicking symptoms of CARASIL in two families
(著者) Yu Kono, Kenya Nishioka, Yuanzhe Li, Yo Komatuzaki, Yuta Ito, Hiroyo Yoshino, Ryota Tanaka, Yasuyuki Iguchi, Nobutaka Hattori
(発行所・年・巻・号・頁) Clinical Neurology and Neurosurgery 2018; 172:174-176
- 2 (著書【題名】) Foix-Chavany-Marie syndrome caused by a unilateral brain abscess
(著者) Ryo Shoji, Yu Kono, Hiroto Furuhashi, Masanori Nakano, Yuichi Torisu
(発行所・年・巻・号・頁) Intern Med. 2019; 58: 581-583

〔小児科〕

- 1 (著書【題名】) 小児におけるオープンフェースマスクの使用経験
従来マスクと比較した臨床的効果と使用感
(著者) 松岡諒、瀧沢裕司、田村喜久子、小穴慎二
(発行所・年・巻・号・頁) 小児科臨床・2018・71・7・P1255-1263
- 2 (著書【題名】) Ureaplasma 感染に伴う肺炎にアジスロマイシンが奏功した新生児2例
(著者) 鈴木亮平、小西愛里、関真澄、関口由利子、斎藤遥子、相良長俊、本木隆規、赤司賢一、柳原格、勝沼俊雄
(発行所・年・巻・号・頁) 日本小児科学会雑誌・2018・122・9・P1450-1455

- 3 (著書【題名】) Sinobronchial syndrome treated as intractable asthma
 (著者) Suzuki R, Sugimura K, Akashi K, Katsunuma T
 (発行所・年・巻・号・頁) Pediatr Int・2018・Oct 15
- 4 (著書【題名】) 【小児気管支喘息の治療 ―ガイドラインをふまえて―】
 薬物療法のポイント 抗喘息薬の選択・使い分け
 (著者) 鈴木亮平、勝沼俊雄
 (発行所・年・巻・号・頁) 小児科臨床・2019・72・2・P137-141
- 5 (著書【題名】) 生後1か月時にバルトリン腺膿瘍が顕在化した一例
 (著者) 高恵美、千葉浩介、馬場俊輔、皆川優納、石川尊士、大場温子、南波広行、
 高島典子、和田靖之、久保政勝、井田博幸
 (発行所・年・巻・号・頁) 小児科臨床 (in press)

[外科]

- 1 (著書【題名】) 腹腔鏡下に切除した腸回転異常症を伴うS状結腸・小腸重複癌の1例
 (著者) 谷田部沙織
 (発行所・年・巻・号・頁) 日本臨床外科学会雑誌・2018・79(2)・P371-376
- 2 (著書【題名】) 経皮的胸管破砕術により再手術を回避できた食道癌術後難治性乳糜胸の
 1例
 (著者) 小林康伸
 (発行所・年・巻・号・頁) 日本臨床外科学会雑誌・2018・79(3)・P500-504
- 3 (著書【題名】) Hemorrhagic Shock Due to Spontaneous Mesenteric Hematoma
 Caused by Breakdown of the Accessory Right Colic Vein:
 A Case Report
 (著者) Atsushi Harada
 (発行所・年・巻・号・頁) Jikeikai MEDICAL JOURNAL・2018・65(2&3)・P13-16

[耳鼻咽喉科]

- 1 (著書【題名】) 血腫を併発した急性喉頭蓋炎の1症例
 (著者) 内尾紀彦、黒田健斗、重田泰史、小林俊樹
 (発行所・年・巻・号・頁) 耳鼻咽喉科展望会耳鼻咽喉科展望・2018・61巻・2号・P97-100
- 2 (著書【題名】) 巨舌によるオトガイ部腫脹から診断に至った全身性アミロイドーシスの
 1例
 (著者) 高津南美子、内尾紀彦、黒田健斗、重田泰史
 (発行所・年・巻・号・頁) 耳鼻咽喉科展望会耳鼻咽喉科展望・2018・61巻・5号・P262-267

〔放射線科〕

- 1 (著書【題名】) A rare manifestation of clinical T1 renal tumor with parasitic arterial supply from the superior mesenteric artery
(著者) Michimoto K, Shimizu K, Sadaoka S, Miki J
(発行所・年・巻・号・頁) Radiol Case Rep・2018 Aug・3;13(5)・P945-948
- 2 (著書【題名】) Percutaneous puncture and embolisation for pancreatitis-related pseudoaneurysm: the feasibility of thrombin injection even in collection of fluid surrounding the pseudoaneurysm
(著者) Michimoto K, Higuchi T, Enoki K, Matsui Y, Takenaga S, Saeki C
(発行所・年・巻・号・頁) Pol J Radiol・2018 Dec・5;83・e510-e513

〔臨床検査科〕

- 1 (著書【題名】) 「出前講座」で未病改善の必要性を啓発
(著者) 岩崎佐知子
(発行所・年・巻・号・頁) 月刊健康支援外来5月号・2018・No7・P10-

〔リハビリテーション科〕

- 1 (著書【題名】) 臨床動作分析
【骨折—自分なりの運動を自己組織化するためのアプローチ】
(著者) 深澤史朗
(発行所・年・巻・号・頁) 三輪書店・2018・第Ⅲ章・P372

〔看護部〕

- 1 (著書【題名】) 産科病棟で働く看護師が役割認識を獲得するまでのプロセスと関連する要因
(著者) 渡辺恵理子、望月恵
(発行所・年・巻・号・頁) 公益社団法人日本母性衛生学会・2018・母性衛生 59 巻・2 号・P29-34
- 2 (著書【題名】) 複数の遺伝子型が関与した新生児特定集中治療室における MRSA アウトブレイク
(著者) 増田満伯・本間功武
(発行所・年・巻・号・頁) 環境感染誌・2018・Vol133・no. 5・P230-235
- 3 (著書【題名】) バリアンス分析を活用した下肢壊疽(腰椎麻酔)クリニカルパスの検証
(著者) 川崎義和、吉元和久、森本康江、勝又祐子、島田英介、佐野元美
(発行所・年・巻・号・頁) 日本クリニカルパス学会誌・2019・Vol. 21・No. 1・P21-24
- 4 (著書【題名】) 深部静脈血栓予防に対する勉強会による看護師の行動変容
(著者) 小林智美、工藤希、遠藤雅和
(発行所・年・巻・号・頁) 日本看護協会 平成 31 年日本看護学会論文集 P147

第 33 回 富士シンポジウム

(富士市立中央病院と富士市医師会との合同研究発表)

開催日：平成 30 年 6 月 7 日 (木)

会 場：富士市立中央病院 2 階 大会議室

テーマ：「各科の話題・トピックス」

座 長：矢田大輔 富士市立中央病院 医局長 (産婦人科医長)

海野公成 富士市医師会 生涯教育委員会委員長 (海野皮フ科医院院長)

演題 1：『消化器外科領域の NPWT の有用性について』

発 表 者：良元和久 (富士市立中央病院 手術管理科部長兼外科副部長)

指定討論者：海野公成 (海野皮フ科医院 院長)

演題 2：『膀胱腫瘍に対する経尿道的膀胱腫瘍切除術における新規技術』

発 表 者：下村達也 (富士市立中央病院 泌尿器科副部長)

指定討論者：別府正典 (べっぷ腎・泌尿器クリニック 院長)

演題 3：『IgG4 関連疾患の一例』

発 表 者：野村郁男 (野村クリニック 院長)

指定討論者：渡邊直昭 (富士市立中央病院 呼吸器内科医長)

演題 4：『下肢静脈瘤に対する最新治療』

発 表 者：花田明香 (新富士病院 血管外科センター長)

指定討論者：村上友梨 (富士市立中央病院 外科専任医師)

演題 5：『耳鼻咽喉科領域の異物』

発 表 者：中嶋美帆 (しんふじ耳鼻咽喉科クリニック 院長)

指定討論者：重田泰史 (富士市立中央病院 耳鼻咽喉科部長)

第 35 回 富士市立中央病院学術集会

(病院職員による院内の学術発表)

開催日：平成 30 年 8 月 31 日 (金)

会場：富士市立中央病院 2 階 大会議室

構成：2 部構成 (第 1 部：一般演題、第 2 部：シンポジウム)

第 1 部：一般演題

【診療技術部】座長：石川隆之 (副診療技術部長)

1 『病理検査における検体取り違え防止対策への取り組み』

発表者：臨床検査科 柏木里沙子

2 『当院の人工呼吸器の特徴』

発表者：臨床工学科 杉山弘一

3 『腎機能低下時に注意が必要な薬剤への取り組み』

発表者：薬剤科 ○遠藤大介、加藤寛史

【看護部】座長：大石悦子 (副看護部長)

4 『卒後 2 年目看護師への支援と教育的関わり』

発表者：4 B 病棟 丹羽美穂子

5 『一次洗浄中央化の取り組み』

発表者：中央材料室 ○後藤光子、森本康江、
(日本ステリ(株) 遠藤真理子)

6 『ICU入室患者に起きた記憶のゆがみとその要因

－ ICU退室後訪問用紙の記述から－』

発表者：集中治療室 ○岡部裕子、渡邊かおる、佐野世佳

【診療部】座長：矢田大輔 (医局長)

7 『血管内異物除去をカテーテルにて成功した一例』

発表者：循環器内科 増谷祐人

- 8 『小児科医による消化器内視鏡研修
 －成人消化器内科での小児科業務並行型研修－』
 発表者：小児科 松岡諒
- 9 『当科における胃食道逆流症に対する腹腔鏡下噴門形成術の実際
 －食道裂孔ヘルニア再発をきたさないための留意点を中心に－』
 発表者：外科 坪井一人



第1部：一般演題（会場の様子）

受賞結果：最優秀賞

『腎機能低下時に注意が必要な薬剤への取り組み』

発表者：薬剤科 ○遠藤大介、加藤寛史

優秀賞（2演題）

・『ICU入室患者に起きた記憶のゆがみとその要因

－ICU退室後訪問用紙の記述から－』

発表者：集中治療室 ○岡部裕子、渡邊かおる、佐野世佳

・『小児科医による消化器内視鏡研修

－成人消化器内科での小児科業務並行型研修－』

発表者：小児科 松岡諒

第2部：シンポジウム

テーマ：当院における病院経営の現状と未来

座長：笠井健司（副院長兼腎臓内科部長・学術活動推進委員会委員長）

発表：1 『病院経営の実態 ～現状と課題～』

発表者：事務部 病院経営課 芹澤広樹

2 『医師の働き方改革と病院経営』

発表者：事務部 病院総務課 鈴木裕子

3 『診療報酬とその方向性』

発表者：事務部 医事課 島田英介



第2部：シンポジウム（会場の様子）



全体講評： 柏木秀幸 院長

富士市立中央病院 市民公開講座

【前期】

開催日：平成30年5月29日（火） 19：00～20：30（18：30開場）

会場：富士市立中央病院2階 大会議室

講座名：第18回市民公開講座

『いくつになっても寝たきりにならないために!!

健康寿命を延ばすための秘訣』

- 1 慢性肝疾患とサルコペニア
佐伯千里（消化器内科部長）
- 2 整形疾患とフレイル
加藤努（整形外科部長）

講師：佐伯千里（消化器内科部長）、加藤努（整形外科部長）

参加者数：115名



講師：（左）加藤部長・（右）佐伯部長



会場の様子

【後期】

開催日：平成30年9月19日（水） 19：00～20：30（18：30開場）

会場：富士市文化会館ロゼシアター 小ホール

講座名：第19回市民公開講座

『切らずに治す脳卒中』

講師：村山雄一 氏 東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座 主任教授
同大学附属病院 脳卒中センター長

参加者数：121名



講師：村山教授



会場の様子

平成 30 年度 富士市立中央病院出前講座

13 講座 (全 28 回)、延べ参加人数 1,362 人

講座 No. 6	こどものけいれん とくに熱性けいれんについて (小児科) 7 月 26 日 / 1 回 / 100 人
講座 No.19	それでもあなたはタバコを吸いますか? (中央放射線科) 11 月 27 日 / 1 回 / 115 人
講座 No.27	飲み込みの障害のある方への対応とリハビリ (リハビリテーション科) 7 月 3 日 / 1 回 / 28 人
講座 No.28	骨折と転ばぬ為の身体づくり (リハビリテーション科) 4 月 9 日、11 月 16 日、11 月 22 日 / 3 回 / 54 人
講座 No.29	かんたん呼吸リハビリテーション (リハビリテーション科) 2 月 18 日 / 1 回 / 14 人
講座 No.30	認知症予防 (リハビリテーション科) 8 月 24 日、11 月 28 日、1 月 22 日 / 3 回 / 33 人
講座 No.37	未病と検査 (臨床検査科) 6 月 5 日 / 1 回 / 11 人
講座 No.43・44	糖尿病・腎臓病と食事療法 (栄養科) 1 月 30 日 / 1 回 / 14 人
講座 No.47	家庭でできる感染予防 (感染対策室) 6 月 22 日、7 月 13 日、7 月 24 日、10 月 17 日、10 月 20 日、10 月 26 日、 12 月 5 日、3 月 12 日 / 8 回 / 214 人
講座 No.48	在宅看護の実際 (地域医療連携室) 2 月 5 日 / 1 回 / 14 人
講座 No.49	褥瘡を防ぐには・ストーマの管理 (看護部) 9 月 25 日、10 月 31 日 / 2 回 / 54 人
講座 No.52	生命の誕生・いのちの大切さ (看護部) 10 月 30 日、11 月 19 日、12 月 6 日、1 月 24 日、2 月 8 日 / 5 回 / 711 人

各科目紹介

皮膚科

～患者さんとの会話～ 大切にしています～

皮膚科は2名の医師で、外来、入院、他の診療科に入院している患者さんの診療を行っています。

乳児から高齢者まで幅広い年齢層において、炎症性皮膚疾患、感染症、腫瘍病、皮膚腫瘍など、皮膚（爪や髪を含む）に係る全ての疾患を対象としています。また、必要時は遠くから他科や他院（国造大学病院、静岡がんセンターなど）と連携できる体制が整えられています。

皮膚疾患は、一過性で治癒するものもあれば、治癒によって症状のある程度抑えながら治療の継続が必要なもの、有効な治療法がないものなど様々あります。皮膚科で取り扱う疾患の多くは、

発赤などの客観的に確認できる疾患ではありませんが、顔として痒みといった他人にはわからずともえない苦痛を伴い、思うように改善しないというクタクタシューティング状態に陥ることがあります。そうした状況に陥らないよう、当科では、予想される経過を把握し、治療方針に関して患者さんと相談しながら心配や不安を少しでも取り除いていけるよう心がけています。

富士市内の皮膚科クリニックの先生方と密に連携していますので、他院で治療がある場合は紹介状をお持ちください。治療を継続するうえで重要な参考となり、検査の重複を防ぐことにも繋がります。ご協力をお願いいたします。

～お問い合わせ～ 相談 患者様がより満足できる医療を求めて、医療機関を次々と、あるいは同時に受診すること。

第18回市民公開講座

いくつになっても元気に暮らしたい!! 健康寿命を延ばすための秘訣

日時 平成30年5月29日(火) 19:00～20:30(18:30開場) 場所 富士市立中央病院 2階 大会議室

講師1: 慢性腎臓病とセルフケア 講師2: 認知症とフレイル

定員 100名(先着順) 費用 無料 申し込み 5月7日(月)から電話受付を開始します。(平日 8:30～12:00・13:00～17:15) 病院総務課 内線2216

診療報酬の一部が改定されました

医療サービスの公定価格にあたる診療報酬は、2年に1度、厚生労働省の告示により改定られ、今回は入院基本料や検査料等が改定されました。平成30年4月1日から、患者さんに窓口でお支払いいただく金額が一部変更になりましたので、ご了承ください。

医師課 内線2105

助産師修学資金貸与 希望者募集!

対象 助産師として富士市立中央病院に勤務する意思があり、現在助産師養成施設などに在学している方(他の条件あり)

定員 10万円(無利借) 貸与月数 助産師養成施設などが定める正規の修学期間(助産に関する学業の修学期間)

返済の負担 富士市立中央病院で助産師として勤務した期間が、貸与相当期間の2倍となったとき

申込期限 平成30年4月27日(金) ※資料に添えない場合は、連絡できません。

申し込み 病院総務課人事担当 詳細は、当院ウェブサイトをご覧ください。 病院総務課 内線2214

産後ケア はじめました

赤ちゃんとお母さんと共に初産しながら、心と体のケア、育児に関する具体的な指導などを助産師から受けられます。利用できる方は、富士市在住の産後2か月以内の赤ちゃんとお母さんで、家族から十分な家事・育児の援助が得られ、お母さんの体調や育児に不安がある方(医療行為が必要な方は対象外)です。

申し込み 富士市こども家庭課 55-2763 富士市立中央病院 52-1131

院内ギャラリー展示申込みについて

受付日 平成30年4月29日(金) 午前8時から午前9時30分まで 場所 富士市立中央病院 2階 厚生室(大会議室隣) 詳細は、当院ウェブサイトをご覧ください。

各種相談の日程表。包括相談、がん、アレルギー相談、化学療法副作用相談、医療福祉相談、お薬相談、栄養相談、検査に関する相談、リフトケア相談、医療放射線被ばく相談、医療安全相談。

教室等の紹介

腎臓病教室 日時: 毎月第3火曜日 15:00～16:00 第43期腎臓病教室スケジュール 5/15, 6/19, 7/17, 8/21, 9/18, 10/16 場所: 2階大会議室 問い合わせ: 栄養科 内線2146

各種相談の日程表。包括相談、がん、アレルギー相談、化学療法副作用相談、医療福祉相談、お薬相談、栄養相談、検査に関する相談、リフトケア相談、医療放射線被ばく相談、医療安全相談。

理念

富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の皆さまにより良い医療を早くも発信し提供し、共に健康の向上に努めます。

平成30年度病院指針

「つながる力 認め合う心 高め合う支援」

職員宣言

1 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。 2 私たちは、知りえた他人のプライバシーは、必ず保護します。

従来と異なる小型・軽量化に成功! 約25%減の重量と約20%減の厚さ。リチウムイオン電池搭載。充電残量表示機能搭載。

お弁当のご注文承ります! 6月1日以上のご注文は、送料別にお届けいたします。 京食園 0120-08-2989

富士市立中央病院 417-8567 富士市高島町50番地 TEL.0545-62-1131 FAX.0545-51-7077 E-mail:byon@city.fuji.shizuoka.jp 事務局経路課 内線2221・2222

各科紹介

泌尿器科

～患者さんにやさしい診療を提供します～

泌尿器科は、これまで常勤医師は3名でしたが、泌尿器科手術認定医である下村医師が赴任し、4名の体制となりました。

当院でも腎臓や副腎に対する腹腔鏡下手術を積極的に行うようになり、大変充実した診療を提供しています。

昨年度から、他の医療機関の医師不足の影響もあり、当科での手術件数は倍増しました。腹腔鏡下腎摘除などの難易度の高い手術を達成していることも度々あり、非常に忙しい日々が続いています。地域の皆様から必要とされることに大変やりがいを感じています。7月からは、新たに医師が赴任し常勤医師5人体制となりますので、より一層充実した診療とサービスを提供してまいります。

病状においては、入院患者さんやご家族とのコミュニケーションを密に図り、地域医療連携センターと連携しながら、入院患者さんやご家族のご希望に沿えるよう努めています。また、ご高齢の患者さんが多いため介護施設との連携も行っていきます。

温かくやさしい診療を心がけ、市民の皆様の期待に応えられるよう、スタッフ一同、診療に邁進してまいります。



泌尿器科医師 下村 隆之介、副科長 佐藤 大輔、看護師 山本 美穂、山本 美穂、山本 美穂、山本 美穂、山本 美穂

元気に過ごそう! ～熱中症予防～

熱中症予防の基本は、「食事+睡眠」で暑さに負けない体力をつけることです。

バランスの良い食事のポイント

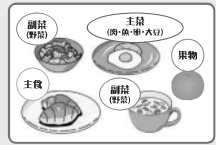
- 1日3食 ●主食 + 主菜 + 副菜 をそろえる。
- 汗で失われやすいミネラルや水分を含んだ野菜をたっぷり摂取

特に、体温調節機能が未熟な乳幼児やのどの渇きを感じにくい高齢者は脱水や熱中症になりやすいので要注意です。

熱中症を感じる前に水やお茶でこまめに水分を補給しましょう!

熱中症がなると感じた時は「経口補水液」の摂取もおすすめです。経口補水液は脱水状態の人が水・電解質を補給するのに適しており、体内の成分に近いため、すみやかに吸収されます。スポーツドリンクより糖分が少なく、塩分が多く含まれているのも特徴です。家庭でも簡単に作ることができるので、脱水・熱中症対策に活用してください。

【注】糖尿病、腎臓病、高血圧などの疾患をお持ちの患者さんは、主治医の先生とご相談の上、ご服用ください。



看護学生インターンシップ受付中!

看護学生を対象にインターンシップの受け入れをしています。来週の看護棟や看護棟を体験することができます。ご自身の将来像を具体的にイメージすることができます。夏休みの1日を当院看護師と一緒に過ごしてみませんか。

ご希望の方は当院ウェブサイトをご覧ください。お申し込みください。

受付日 7月25日(水)、8月1日(水)、8月8日(水)、8月15日(水)、8月22日(水)、8月29日(水)、9月5日(水)、9月19日(水)、9月26日(水)

腎臓病教室

日時：毎月第3火曜日 15:00～16:00
第43期腎臓病教室スケジュール
第4回 8/21、第5回 9/18、第6回 10/16

場 所：2階大会議室
問い合わせ：栄養科 内線2146

ファミリークラス（リネオクラス・ベアクラス）

日時：毎月3回 13:00～15:00

場 所：2階大会議室
問い合わせ：産婦人科外来 内線2059

出前講座

当院職員を学校・会社・町内会の集まり、医療施設等へ来科で派遣します。詳細は、当院ウェブサイトをご覧ください。
問い合わせ：病棟総務課 内線2222

各種相談	曜日/時間	場 所	問い合わせ
看護・がん・よろず相談 乳がん相談、健康診断結果など	月～金 8:30～16:00	1階総合相談センター	内線2046
がん患者サロン～一人で悩まないで～	第4水 14:00～16:00	1階第1会議室	内線2916
化学療法副作用相談会(ウ・ハ・院専)	第4水 10:00～12:00	2階第3会議室	内線2916
医療福祉相談	月～金 8:30～16:00	1階総合相談センター	内線2918
栄養相談(病棟・福祉サービスに関する生活相談)	月～金 8:30～17:00	1階栄養相談室	内線2126
栄養相談(予約制)	月～金	2階栄養相談室	内線2146
検査に関する相談・血糖自己測定器説明	月～金 8:30～16:00	2階中央検査相談室(臨床検査科)	内線2257
リフトケア相談(脳血管疾患の認定ケア)	第2・4の水 13:30～15:30	2階内科外来	内線2285
医療放射線被ばく相談(予約制)	火・木	1階中央放射線科	内線2153
医療安全相談	月～金 8:30～16:00	2階医療安全相談室	内線2259

理念

- 1 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
- 2 私たちは、知りえた個人のプライバシーは、必ず守ります。
- 3 私たちは、検査・治療・予後などについて、分かりやすい説明に努め、患者さまの意思を尊重します。
- 4 私たちは、患者さまの必要や要望があれば、他の医療機関へ紹介し、必要な情報を提供します。
- 5 私たちは、相互信頼としての信頼を心にし、患者さまの健康、生活の質を高め、功利的な運営に努めます。
- 6 私たちは、医療機関相互の連携を心にし、地域の医療体制への貢献に努めます。

職員宣言

- 1 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
- 2 私たちは、知りえた個人のプライバシーは、必ず守ります。
- 3 私たちは、検査・治療・予後などについて、分かりやすい説明に努め、患者さまの意思を尊重します。
- 4 私たちは、患者さまの必要や要望があれば、他の医療機関へ紹介し、必要な情報を提供します。
- 5 私たちは、相互信頼としての信頼を心にし、患者さまの健康、生活の質を高め、功利的な運営に努めます。
- 6 私たちは、医療機関相互の連携を心にし、地域の医療体制への貢献に努めます。

従来の健康と美容力で「小型・軽量化に成功!」
約25%減重、約20%減糖
【注】医師の指導のもとで実施してください。

お弁当のご注文承ります!
1,500円、1,680円
0120-08-2989
京島園 京島園 京島園

富士市立中央病院病院だより 第41号 平成30年7月20日発行(54頁発行)
〒417-8567 富士市高島町50番地 TEL.0545-62-1131 FAX.0545-61-7077
E-mail:byon@div.city.fuji.shizuoka.jp 事務局経路経費課(内線2221・2222) 富士市立中央病院ウェブサイト
http://byon.city.fuji.shizuoka.jp

平成30年10月20日
秋号
Vol.42

富士市立中央病院
病院だより

- 1P ブラック・ジャックセミナー開催レポート
- 2P 各科紹介～産婦人科～
放射線科 肩関節の慢性疼痛に対するカテーテル治療を開始しました!
- 3P 外来日程表・医師の人事異動
- 4P MRI装置を更新しました
糖尿病予防キャンペーン
院内コンサートinクリスマス
- 5P 中央病院で働かせませんか? 臨時職員募集

QRコード

 富士市立中央病院のホームページはこちらです。
<http://www.fsc-hospital.or.jp/>

ブラック・ジャックセミナー
開催レポート

富士市立中央病院では、今年もジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社との共催により8月18日に「ブラック・ジャックセミナー」を開催し、34名の中学生が、当院の外科医師と麻酔科医師の指導のもと、医療現場で実際に使用している機器と同じものを扱い、手術の模擬体験を行いました。このセミナーを通じて、一人でも多くの生徒さんが医師の仕事に興味を持ち、将来の選択の一助として、医学の志をすっきりかけねばと期待しています。

- **救命救命体験**
救命処置、ポケットマスクによる人工呼吸、AEDの操作を3人で分担して行いました。医師からは、「みんなが今日からできること」とアドバイスをあせり、中学生は一生懸命に取り組んでいました。
- **手術縫合体験**
皮膚縫合は外科医としての基本手技です。いろいろな種類の縫合方法がありますが、今回は最も一般的な行われている縫合縫合を行いました。持針器(縫合針を持つための器具)を右手で持ち、針先は皮膚に垂直に刺して縫合します。初めて扱う針に苦戦しながらも、とても楽しそうでした。
- **最新医療機器体験 (超音波メス・電気メス)**
超音波メスと電気メスは、組織の切断と凝固止血を同時に行う手術機器です。超音波メスは超音波振動によって発生する摩擦熱を利用して、電気メスは高周波電流を流して発生させた熱を利用して、超音波メスと電気メスを比べてみました。
- **内視鏡トレーニング体験 (超音波メス・電気メス)**
内視鏡手術では、腹部に小さな穴をあけて、そこに細長い器具やカメラを入れて、モニターで内部を見ながら手術をします。傷口が小さくて痛みも少ない利点がありますが、実際にはモニター画面を見ながら操作を行うため、とても難しい手術です。中学生は、両手に鉗子(組織などを挟んだり牽引したりするための器具)を持ち、カップからカップにビーズを移動させるトレーニングをしました。内視鏡トレーニングが、一番難しい体験だったようです。
- **自動吻合器・縫合器体験**
腸や胃の手術の際は、腹部を中心に腸管を切り離し、断面(切り傷)を縫い閉じます。従来の外科医が針と糸で縫っていたのが、手作業では時間がかかりますが、技術によって仕上がりに差が出てしまうため、自動吻合器・縫合器が開発されました。誰でも安全・迅速に切り、つなぐことができます。実際にチューブを切り離し、チューブが縫合されていることを確認しました。
- **気管挿管体験**
気管挿管は、患者さんの急変時、心臓停止時や人工呼吸器の稼働、気道を確保するために行われます。喉頭鏡を用いて気道を確保しながら、気管に気管チューブを挿入します。内視鏡トレーニングに合わせて難しい体験のようでしたが、中学生からは「1日で入ったので、すごく楽しかった!」という声も聞かれました。

このセミナーは、消防士や救急隊員がキャラクター「ブラック・ジャック」が、実際に外科手術の経験を身につけ、その技術を駆使し、傷病者に対する適切な応援や、救急・救命の仕事を担当し、「生命の守り手」として、「命をよびかかるところ」に立ち寄り、適切な処置を行うことで、救急現場での活躍が期待されています。ブラック・ジャックが救急現場で活躍し、高度な医療に貢献することを期待しています。

産婦人科

産婦人科は、病状の進行と非常態分娩の発生に早期に対応するための専門的な診療科です。妊娠期間中、産前・産中・産後、産後ケアの全過程を担当し、産後ケアや産後のケアに力を入れています。また、産科医療の安全と安心を確保するために、産前・産中・産後のケアに力を入れています。産科医療の安全と安心を確保するために、産前・産中・産後のケアに力を入れています。

産婦人科は、病状の進行と非常態分娩の発生に早期に対応するための専門的な診療科です。妊娠期間中、産前・産中・産後、産後ケアの全過程を担当し、産後ケアや産後のケアに力を入れています。また、産科医療の安全と安心を確保するために、産前・産中・産後のケアに力を入れています。産科医療の安全と安心を確保するために、産前・産中・産後のケアに力を入れています。

放射線科 肩関節の慢性疼痛に対するカテーテル治療を開始しました!

近年、肩関節痛(五十肩)や変形性関節症など、様々な原因で慢性疼痛の発生傾向が増えています。慢性疼痛は、痛みだけでなく、日常生活に支障をきたすことが多く、患者さんにとって大きな苦痛となります。このため、慢性疼痛に対する治療として、カテーテル治療が注目されています。カテーテル治療は、患部にカテーテルを挿入し、薬剤を注入することで、患部の炎症を抑制し、痛みを軽減させる効果があります。この治療は、従来の治療よりも効果的であり、副作用も少ないことから、患者さんにとって大きなメリットがあります。

富士市立中央病院外来日程表 平成30年10月 日曜日

診療科目	担当医師	月	火	水	木	金	(備考)
内科	増田 誠徳 渡邊 三郎 高橋 大祐						内科急診は午後5時～のみの対応。当院の診療科目は、午後5時から翌日の午前1時までの間、当院の急診センターにて対応いたします。
外科(総合診療)	佐藤 誠一 山本 浩一 田中 浩一 佐藤 誠一 山本 浩一 田中 浩一						外科急診は午後5時～のみの対応。当院の診療科目は、午後5時から翌日の午前1時までの間、当院の急診センターにて対応いたします。
整形外科	増田 誠徳 渡邊 三郎 高橋 大祐 佐藤 誠一 山本 浩一 田中 浩一						整形外科急診は午後5時～のみの対応。当院の診療科目は、午後5時から翌日の午前1時までの間、当院の急診センターにて対応いたします。
形成外科	増田 誠徳 渡邊 三郎 高橋 大祐 佐藤 誠一 山本 浩一 田中 浩一						形成外科急診は午後5時～のみの対応。当院の診療科目は、午後5時から翌日の午前1時までの間、当院の急診センターにて対応いたします。
泌尿科	増田 誠徳 渡邊 三郎 高橋 大祐 佐藤 誠一 山本 浩一 田中 浩一						泌尿科急診は午後5時～のみの対応。当院の診療科目は、午後5時から翌日の午前1時までの間、当院の急診センターにて対応いたします。
産婦人科	佐藤 誠一 山本 浩一 田中 浩一						産婦人科急診は午後5時～のみの対応。当院の診療科目は、午後5時から翌日の午前1時までの間、当院の急診センターにて対応いたします。
放射線科	増田 誠徳 渡邊 三郎 高橋 大祐 佐藤 誠一 山本 浩一 田中 浩一						放射線科急診は午後5時～のみの対応。当院の診療科目は、午後5時から翌日の午前1時までの間、当院の急診センターにて対応いたします。
眼科	増田 誠徳 渡邊 三郎 高橋 大祐 佐藤 誠一 山本 浩一 田中 浩一						眼科急診は午後5時～のみの対応。当院の診療科目は、午後5時から翌日の午前1時までの間、当院の急診センターにて対応いたします。
耳鼻咽喉科	増田 誠徳 渡邊 三郎 高橋 大祐 佐藤 誠一 山本 浩一 田中 浩一						耳鼻咽喉科急診は午後5時～のみの対応。当院の診療科目は、午後5時から翌日の午前1時までの間、当院の急診センターにて対応いたします。
皮膚科	増田 誠徳 渡邊 三郎 高橋 大祐 佐藤 誠一 山本 浩一 田中 浩一						皮膚科急診は午後5時～のみの対応。当院の診療科目は、午後5時から翌日の午前1時までの間、当院の急診センターにて対応いたします。
小児科	増田 誠徳 渡邊 三郎 高橋 大祐 佐藤 誠一 山本 浩一 田中 浩一						小児科急診は午後5時～のみの対応。当院の診療科目は、午後5時から翌日の午前1時までの間、当院の急診センターにて対応いたします。
歯科	増田 誠徳 渡邊 三郎 高橋 大祐 佐藤 誠一 山本 浩一 田中 浩一						歯科急診は午後5時～のみの対応。当院の診療科目は、午後5時から翌日の午前1時までの間、当院の急診センターにて対応いたします。

● **医師の人事異動について**

平成30年9月1日より、医師の人事異動が行われました。変更内容は以下の通りです。

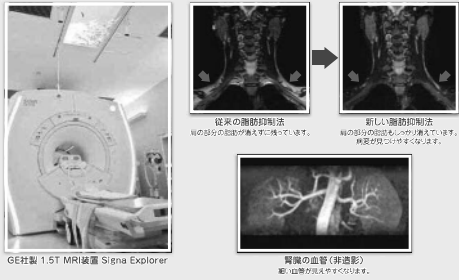
変更前: 内科 佐藤 誠一 外科 山本 浩一 産婦人科 田中 浩一 放射線科 増田 誠徳 泌尿科 渡邊 三郎 形成外科 高橋 大祐 眼科 佐藤 誠一 耳鼻咽喉科 山本 浩一 皮膚科 田中 浩一 小児科 増田 誠徳 歯科 渡邊 三郎

変更後: 内科 渡邊 三郎 外科 佐藤 誠一 産婦人科 山本 浩一 放射線科 増田 誠徳 泌尿科 高橋 大祐 形成外科 田中 浩一 眼科 渡邊 三郎 耳鼻咽喉科 山本 浩一 皮膚科 佐藤 誠一 小児科 山本 浩一 歯科 渡邊 三郎

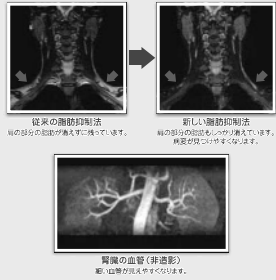
★MRI装置を更新しました★

MRIは強力な磁力を利用した画像検査装置で、その磁力の強さをT(テスラ)という単位で表します。当院には3Tと1.5Tの2台が稼働しています。今年度、長く使用していた1.5T装置を更新し、2台の装置間の性能差(画質や撮影時間の差)はほぼなくなり、どちらで撮像しても患者さんにとって非常に有益な画像情報を得ることが可能となりました。

以前よりも高画質で短時間の撮影が可能となり、造影剤注入時などの息止め時間が短くなりました。血管を抽出する際も、造影剤を使用することなく様々な部位で高画質な血管造影を撮影することができ、また、静脈球が拡張されているため、造影剤の漏れによる患者さんのストレスと熱感も軽減でき、お手持ちを装って撮影した画像を拝見することができます。これからは患者さんにとって、安心安全な画像検査を行ってまいります。



GE社製 1.5T MRI装置 Signa Explorer



腎臓の血管(造影剤) 造影剤注入時での撮影

糖尿病予防キャンペーン

「世界糖尿病デー」にちなみ、糖尿病予防を目的とした血圧測定・血糖測定・資料配布・健康相談を無料でを行います。

- 日時 平成30年11月10日(土) 11:30~14:00
- 場所 イオンタウン富士南 1階 サウスコート

病院経営課 内線2221

院内コンサート inクリスマス

入院中の患者さんや付き添いのご家族、地域の方々に楽しいひとときを過ごしていただくため、院内コンサートを開催します。

- 日時 平成30年12月11日(火) 18:30~19:30
- 場所 中央病院 1階 エントランスホール

病院経営課 内線2222

中央病院で働きますか？ 臨時職員募集

- 職種(勤務時間)
 - 看護師 (8:15~16:45)
 - 准看護師 (8:15~16:45)
 - 臨床検査技師 (8:30~17:00)
 - 理学療法士 (8:30~17:00)
 - 作業療法士 (8:30~17:00)
- その他
 - 勤務日数、勤務時間は相談に応じます。
 - 詳細は、当院ウェブサイトをご確認ください。随時、病院見学も受け付けております。

病院総務課 内線2217・2218

腎臓病教室 教室等の紹介

- 期：毎月第3火曜日 15:00~16:00
- 11/20 12/18 1/15 2/19 3/19 4/16
- 場 所：2階大会議室
- 問い合わせ：栄養科 内線2146
- テーマ：アミロリアス(ハーストラス・ヘアラス)
- 期：毎月3日 13:00~15:00
- 場 所：2階大会議室
- 問い合わせ：産婦人科外来 内線2059

各種相談	曜日	時間	場所	問い合わせ
看護、がん、よろず相談	月~金	8:30~16:00	1階総合相談センター	内線2046
腎臓病、糖尿病に関することなど				
がん療養サポートセンターで悩まないで〜	第4水	14:00~16:00	1階第1会議室	内線2916
化学療法副作用相談会(ワ・ホ・ホ)	第4水	10:00~12:00	2階第3会議室	内線2916
医療福祉相談	月~金	8:30~16:00	1階総合相談センター	内線2918
医師・看護師・介護・福祉サービスに関する生活相談	月~金	8:30~17:00	1階お薬相談室	内線2126
栄養相談	月~金	予約制	2階栄養相談室	内線2148
検査に関する相談・血糖自己測定器説明	月~金	8:30~16:00	2階中央検査相談室(6階検査科)	内線2267
フットケア相談(糖尿病患者さんの足のケア)	水	9:00~15:00	2階内科外来	内線2288
医療放射線技師相談	火・木	予約制	1階中央放射線科	内線2153
医療安全相談	月~金	8:30~16:00	2階医療安全相談室	内線2259

理念

富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の皆さまにより良い医療を平素より提供し、市民の健康の向上に努めます。

【つながる力 認め合う心 築く合う支援】

職員宣言

- 1 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
- 2 私たちは、知りえた個人情報のプライバシーは、必ず守ります。
- 3 私たちは、検査・治療・手術などについて、わかりやすい説明に努め、患者さまの意思を尊重します。
- 4 私たちは、患者さまの必要や要望があれば、他の医療機関へ紹介し、必要な情報を提供します。
- 5 私たちは、相互協力しての医療の中心、患者さま自身に、コスト意識を持ち、効果的・効率的な医療に努めます。
- 6 私たちは、医療機関相互の連携に努め、地域の医療体制への貢献に努めます。

従来の健康と同等出力で **小型・軽量化に成功!** (約25%減重)

約20%減重

【認定補綴技術者監修】

お弁当のご注文承ります

お弁当 1,500円

お弁当(お弁当) 1,800円

0120-08-2989

富士市立中央病院(病院だよ) 第42号 平成30年10月20日発行(年4回発行) 〒417-8567 富士市島崎町50番地 TEL:0545-62-1131 FAX:0545-61-7077 E-mail:byoin@city.fuji.shizuoka.jp 事務総務課総務課(内線2221・2222) 富士市立中央病院ウェブサイト http://byoin.city.fuji.shizuoka.jp

【病院ボランティアさんの活動】

当院では多くのボランティアの皆様が活動しています。患者さんに少しでも良い環境で検査・受診をしていただけるように…という温かなお気持ちから、職員だけでは行き届かないところにご配慮した活動をしていただいています。



外来受付の書類記入のお手伝いや診察 患者さんが入院中使用する寝間着や帽子、着替え、点滴台・ワゴン・ストレッチャー等のご準備。楽しい季節の飾り付け。各種のパン等を自宅で作っていただいています。

現在、受付のボランティアさんを募集しています。お気軽にお問い合わせください。
ボランティアさん募集中!! 医師課 内線2103

【病院だより・ウェブサイトへの広告募集】

平成31年度富士市立中央病院「病院だより」と「ウェブサイト」に掲載する広告を募集します。

◎病院だより

掲載位置 最終ページ下部

掲載料 1枠 30,000円(税込み)

募集数 1号につき2枠(年4回発行)

申し込み 平成31年2月5日(火)から2月28日(木)まで

応募多数の場合は、募集要項に沿って優先します。

◎ウェブサイト

掲載位置 トップページ下部

掲載料 1枠1か月 5,000円(税込み)

募集数 6枠

申し込み 掲載希望月の1か月前まで(4月からの掲載は3月28日(木)まで)

掲載期間は平成31年4月から平成32年3月までの間で、原則3か月以上とします。

※募集要項及び申し込みはウェブサイトをご確認ください。 病院経営課 内線2221

【看護学生インターンシップ開催】

これから就職活動を始め、または就職活動中の学生の皆さん! 実際に看護の仕事を経験し、職場の雰囲気を感じてみませんか? 充実した1日をご過ごせるよう体験プログラムを用意し、スタッフ一同よりお待ちしております。

※実施日

平成31年2月6日(水)・13日(水)・20日(水)・27日(水)

平成31年3月6日(水)・13日(水)・20日(水)・27日(水)

※臨時ウェブサイトの案内に沿って申し込みください。

看護師 看護師

看護師

【院内ギャラリー展示申込みについて】

皆さんの作品が患者さんを受容します。平成31年4月から9月までの展示分について、下記のとおり申し込みを受け付けます。

※受付日 平成31年2月22日(金)

午前9時から午前9時30分まで

※応募多数の場合は、午前9時30分から月ごとにご応募をお願いします。

※場所 2階 大会議室

※持ち物 院内ギャラリー展示申込書

※募集要項及び申し込みは臨時ウェブサイトをご確認ください。

病院経営課 内線2222

中央病院で働きますか? 臨時職員募集

- 職種 (勤務時間)
- 看護部 (8:15~16:45)
- 看護部 (8:15~16:45)
- 事務部 (8:30~17:00)
- 臨床検査技師 (8:30~17:00)
- 理学療法士 (8:30~17:00)
- 作業療法士 (8:30~17:00)
- ※募集人数、勤務時間は相談し可決します。
- その他
- 詳細は、当院ウェブサイトをご確認ください。随時、病院見学も受け付けてあります。
- 応募方法 病院総務課 内線2217・2218

教室等の紹介

胃腸病教室
 日 時: 毎月第3火曜日 15:00~16:00
 第44期胃腸病教室スケジュール
 場 所: 2階大会議室
 開い合せ: 栄養科 内線2146
 ファミリークラス (ハースクラス・ベアクラス)
 日 時: 毎月3回 13:00~15:00
 場 所: 2階大会議室
 開い合せ: 産婦人科外来 内線2059
 出前講座
 当院職員を学校・会社・町内会の集まり、医療施設等へ来科して講演します。当院ウェブサイトをご確認ください。
 開い合せ: 病院長総務課 内線2222

各種相談	曜日	時間	場 所	開い合せ
看護、がん、よろず相談	月~金	8:30~16:00	1階総合相談センター	内線2046
がん療養サポートセンターで悩まないで〜	第4水	14:00~16:00	1階第1会議室	内線2916
化学療法副作用相談会(ケア・爪・脱毛)	第4水	10:00~12:00	2階第3会議室	内線2916
医療福祉相談	月~金	8:30~16:00	1階総合相談センター	内線2918
医師、看護師、介護、福祉サービスに関する生活相談	月~金	8:30~17:00	1階お薬相談室	内線2126
栄養相談	月~金	予約制	2階栄養相談室	内線2146
検査に関する相談・血糖自己測定機器説明	月~金	8:30~16:00	2階中央検査相談室(8階検査科)	内線2257
フットケア相談(足病治療科の医師のケア)	水	9:00~15:00	2階内科外来	内線2288
医療放射線被ばく相談	火・木	予約制	1階中央放射線科	内線2153
医療安全相談	月~金	8:30~16:00	2階医療安全相談室	内線2259

- 理念**
- 富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の皆さまにより良い医療を円滑に提供し、共に医療の向上に努めます。
 - 平成30年度病院指針「つながり力 高め合う心 高め合う笑顔」
- 職員宣言**
- 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
 - 私たちは、知りえた個人のプライバシーは、必ず保護します。
 - 私たちは、検査・治療・予後などについて、分かりやすい説明に努め、患者さまの意思を尊重します。
 - 私たちは、患者さまの必要や要望があれば、他の医療機関へ紹介し、必要な情報を提供します。
 - 私たちは、相互信頼として自覚の中心、働き手同士の信頼、コアな信頼を得、功利的な運営に努めます。
 - 私たちは、医療機関相互の連携を心して、地域の医療体制への貢献に努めます。

従来の健康と美容力で小型・軽量化に成功!
 約25%減重
 約20%減重
 花せ安心! 認定補綴歯技師が担当

人気のカルピッシュで愛護生体! スタミナ補給の力〜!
合格祈願!
京昌園 KEISHOEN
 0120-08-2989
 www.keishoen.com
 全店年中無休

富士市立中央病院総務課 第4号 平成31年1月20日発行(年4回発行)
 〒417-8567 富士市高島町50番地 TEL.0545-62-1131 FAX.0545-51-7077
 E-mail:byon@div.city.fuji.shizuoka.jp 事務局総務課 内線2221・2222
 富士市立中央病院ウェブサイト http://byon.city.fuji.shizuoka.jp